

スペシャル対談

大分市観光大使
指原莉乃 X 佐藤樹一郎

市では、秋には「第33回国民文化祭・おおいた2018」、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」や「OITAサイクルフェス!!!2018」、来年には「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」が開催され、国内外から多くの皆さんが訪れます。
今回は、大分市出身で観光大使として3期目を迎えた指原莉乃さんをゲストにお迎えし、故郷大分への思いや本市の魅力などについて語っていただきました。

コーディネーター 財前真由美 (フリーアナウンサー)



収録場所：坐来 大分 (東京都中央区銀座)

財前 指原さん、「大分市観光大使」として3期目を迎えますが、今のお気持ちを聞かせください。

指原 就任してからもう何年も経って、正直、どうなるんだろうと思っていたので、マネージャーから「今回も決まりました」と聞いて、すごくうれい

市長 今年は「エンジン01文化戦略会議」が大分市であったんですけど、指原さんにはその時もオープニングシンポジウムに

林真理子さんや磯田道史さん、河口洋一郎さんと4人で出演していただきました。その中でも郷土愛を感じられて、皆さん楽しめたと思うんですね。

財前 指原さんは観光大使として意識していることはありますか。

指原 私、番組とかでは悪態をつくことが多いんですけど、なるべく大分のいいところは伝えられるように頑張っているつもりです。

財前 今年、来年と大分市ではビッグイベントが続くんですよ。

市長 秋には「第33回国民文化祭・おおいた2018」、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」があります。国民文化祭は20年ぶりですが、大分が音楽やアート、舞台でいっぱいになりますので、楽しみにしていただきたいと思いますね。「OITAサイクルフェス!!!」は自転車のロードレースとクリテリウムですけど、今回で5回目ですが、今年から国際自転車競技連合の公認レースになるんです。

指原 すごい、世界大会ということですね。

市長 そして来年はいよいよ「ラグビーワールドカップ2019日本大会」。大分は大分

ポーツ公園総合競技場で5試合がありまして、準々決勝が開催されるのが大分、東京、横浜とあってまして、オーストラリアやニュージーランド、フィジーなど世界の強豪が集まります。

指原 盛りだくさんですね。私が一番気になるのは「アート」。東京に出てきて10年が経つんですけど、帰るたびにまちがきれいになっていて、アートの意味でも、県立美術館もできたじゃないですか。

市長 国民文化祭の間、県立美術館と市美術館をつないで、その間をアートでいっぱいにして巡ってもらおうということで、「回遊劇場」を開催しますので、ぜひ、期待していただきたいです。

指原 ラグビーワールドカップですけど、サッカー「2002

財前 帰省されて、大分のグルメも召し上がるんじゃないですか。

指原 東京もちろんおいしいものいっぱいあるんですけど、やっぱり大分のご飯はおいしいですね。これだけはもうみんなに言いたいです。マネージャーも大分のご飯はおいしいよねって言ってくれます。今までは、大分に帰ったら「とり天」食べて、「団子汁」食べてついでに「豚」めっちゃめっちゃおいしいですよ。

財前 最後に市民の皆さんにメッセージをお願いします。

指原 何か私の思い出の場所巡りツアーみたいな、どちらもなじみがあります。駄原総合運動公園のテニスコートでお母さんがいつもテニスをやっていて、銀座で駄原の話が聞けるとは思わなかった(笑)。

指原 こうやって大分の話をしていると、やっぱり大分が好きなんだなと改めて感じました。これからも大分のことを発信していきますので、皆さん一緒に大分を盛り上げましょう。(了)

※10月10日・17日午後6時55分
OBS大分放送 大分市テレビ広報番組「いいやん！大分」要旨